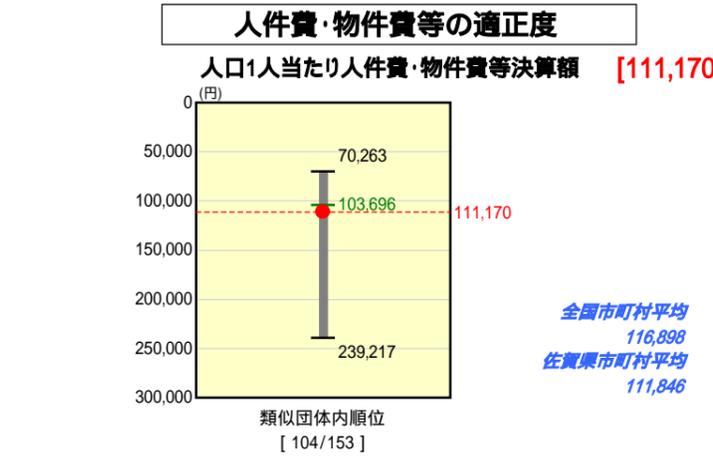
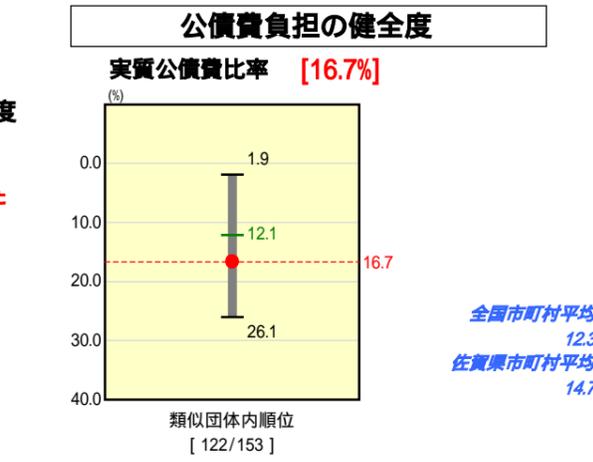
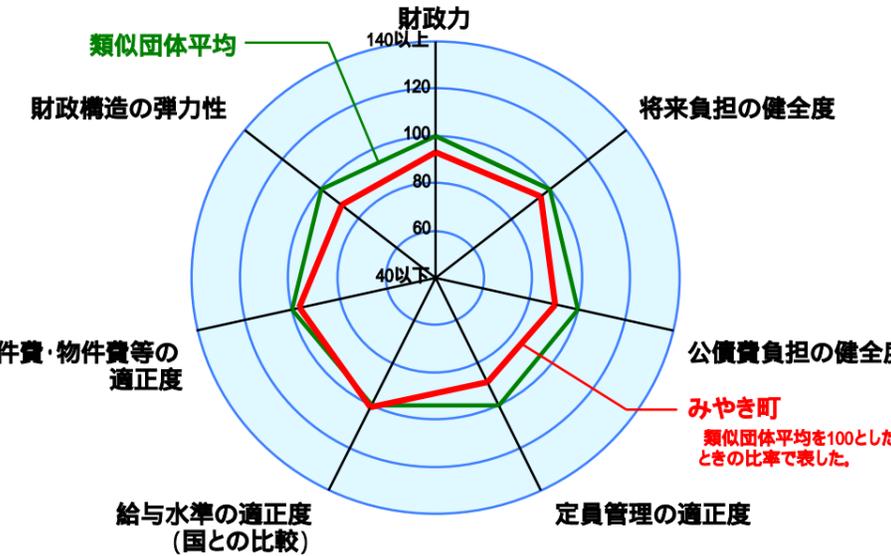
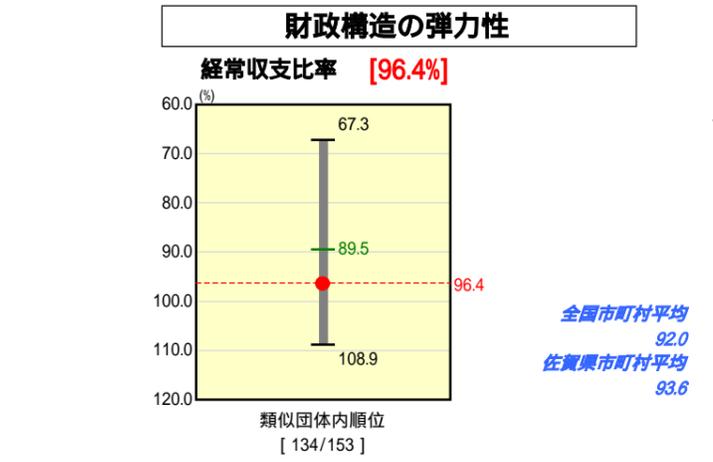
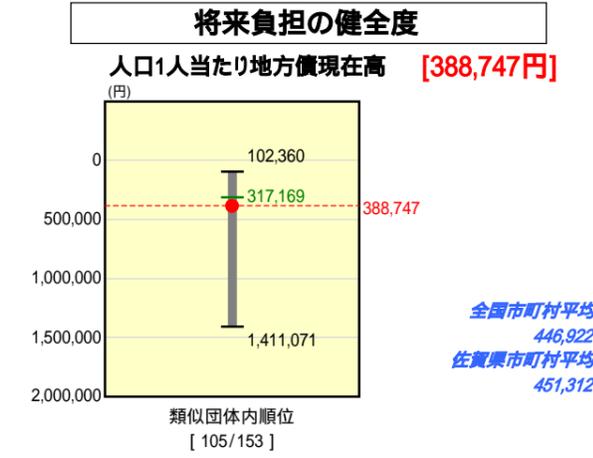
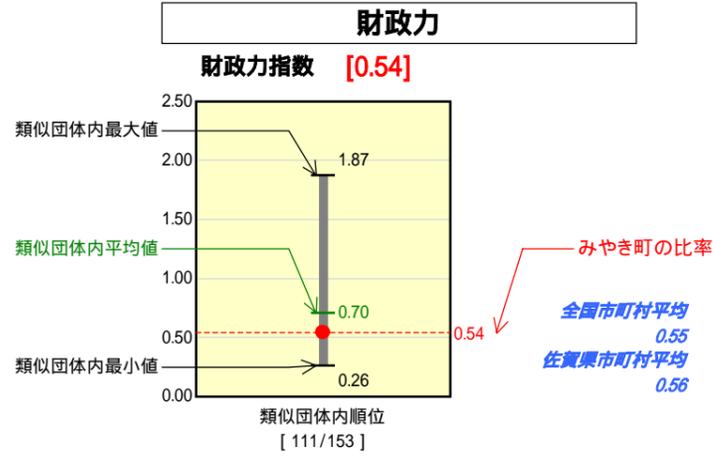


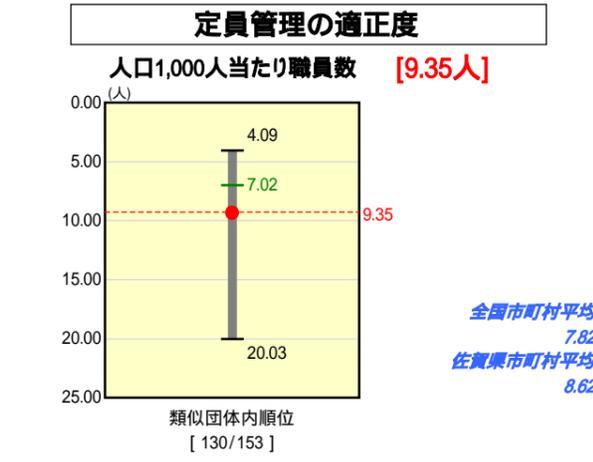
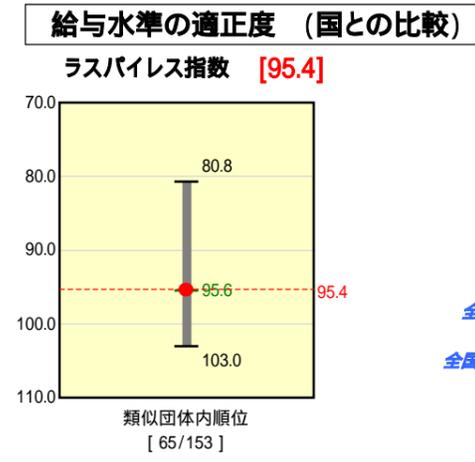
# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 佐賀県 みやき町

人口	26,836	人(H20.3.31現在)
面積	51.89	km <sup>2</sup>
歳入総額	9,517,143	千円
歳出総額	9,317,220	千円
実質収支	199,923	千円



類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
ラスパイレス指数及び人口1,000人当たり職員数については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目に係るデータのグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

**分析欄**

財政力指数:ここ3年間で連続した伸びを見せているが、町内に中心となる産業がないこと等により類似団体平均を大幅に下回っている。引き続き、地方税の徴収強化や企業誘致による税源の確保等を行い、財政構造の改善に努める。

経常収支比率:平成17年3月の市町村合併以前から取り組んでいる退職職員の不補充による人件費の減(平成17年4月1日時点の職員数294名を平成26年度までに186名とすることを旨とする。)、施設管理費の抑制等により前年度は0.9ポイント改善したが、今回決算では臨時財政対策債(平成15年度債)元金償還の開始、一部事務組合施設建設に係る元金償還の開始による負担金の増により、再び0.8ポイント悪化した。19年度に作成した集中改革アクションプログラムに基づき行政の効率化をさらに進めていく。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額:県内市町村平均とほぼ同額であるが、類似団体平均値より高い水準にあり、人件費がその要因となっている。今後も退職職員の不補充、保育所や養護老人ホーム等施設運営の民間への移譲等について進めていく必要がある。

ラスパイレス指数:類似団体平均とほぼ同率であるが、全国町村平均より高い水準にあり、引き続き退職職員の不補充等、定員管理の適正化に努める。

人口1人当たり地方債現在高:補償金免除繰上償還の実施により、前年度より若干改善されたが、類似団体を上回っている。新規発行額は必要最小限に留め、残債が100億円を下回るよう努める。

実質公債費比率:一部事務組合建設施設に係る公債費元金の償還開始や土地改良事業償還助成等により上昇し、ピークを迎えたが、今後は新規借入見込より既借入分の償還完了が上回る見込みである。今後も起債依存度の高い事業を抑制し、新規の債務負担行為を行わない等、率の圧縮に努めていく。

人口1,000人当たり職員数:退職職員の不補充を継続しつつ、類似団体の数値を考慮しながら、事務事業の見直しに伴う人員配置及び職員定数の適正化を図っていく。